

ノースカロライナのアジア系アメリカ人

—激戦地ノースカロライナ州で最も急成長しているコミュニティー—

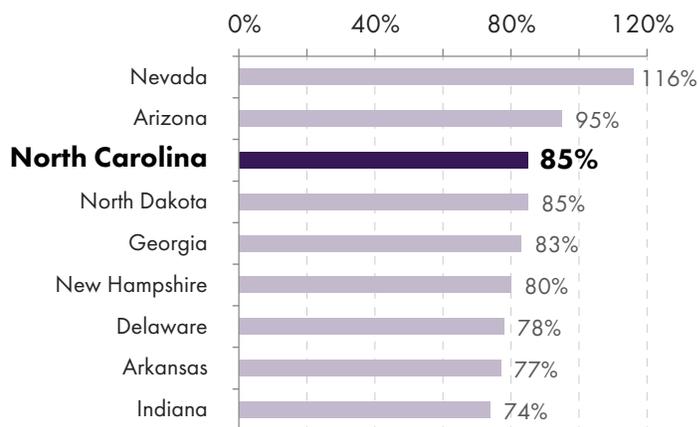
2016年3月

近年ノースカロライナ州のアジア人人口は急激に増加してきました。この新しいアジア移民コミュニティは、多様で豊かなアジア文化と言語をこの地域にもたらしている。そして、アジア人移民がノースカロライナ州の社会に溶け込んでいくにつれて、アジア人の存在と声は無視できないものになった。

急増するアジアコミュニティ

2000年から2010年の10年の間にノースカロライナのアジア系アメリカ人の数は85%増加した。このアジア人急増率は南部州の中ではトップで、全米の中では3番目だ。ノースカロライナ州内を見ると、アジア系の急増率はラテン(ヒスパニック)系アメリカ人について2番目だ。しかも、2010年以降はアジア人の増加率はラテン系アメリカ人を上回っている。現在ノースカロライナには30万人のアジア系アメリカ人が住み、州人口の3%を占める。

2000年から2010年のアジア系アメリカ人の人口の増加

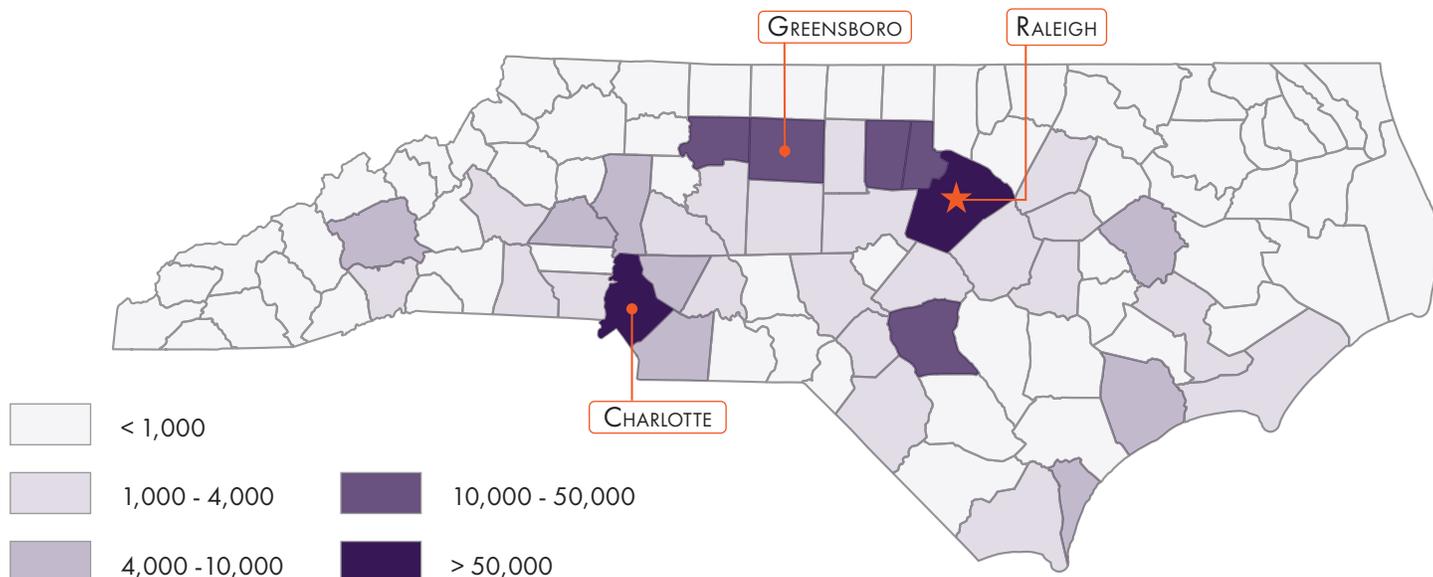


アジア系アメリカ人が多いノースカロライナ州の市と郡

最大のアジア系アメリカ人のコミュニティは州の2大都市であるローリーとシャーロットに集中している。ローリーのベースであるウエイク郡は最も大きなアジア系アメリカ人コミュニティを有し、7万2千人が住んでいる。ウエイク郡の西に位置するダラム、オレンジ郡にも比較的大きなアジア系アメリカ人のコミュニティがある。2番目に大きいのがシャーロットのベースであるメクレンバーグ郡で、6万1000人が住んでいる。

2000年から2010年の10年の間にノースカロライナのアジア系アメリカ人の数は85%増加した。

2014年のノースカロライナ州のアジア系アメリカ人の人口分布



アジア系アメリカ人の出身地

アジア系アメリカ人の出身地はアジアの広大な地域にわたる20以上の民族と国家からなり、「アジア人」と言う言葉で、ひと括りにはできない。一番大きなグループはインド人で州のアジア系アメリカ人の25%以上を占めている。2番目が中国人(15%)で、ベトナム人(12%)、フィリピン人(12%)と続く。ノースカロライナ州にはミャオ族やモンタニヤード族などの少数民族も住んでいる。

言語

多様なアジア民族、人種の間では様々な言語が話されている。例えばヒンズー語、ウルドゥー、韓国語、タガログ語、ミャオ語、ラオス語、グジャラート語、モンタニヤード語(ブノン語、ネパール語、ラデ語を含む)など、数十言語に及ぶ。最もよく話されているのが中国語で、3万人以上の中国人が北京語、広東語などの中国語を話す。その次がベトナム語とアラビア語である。

アジア系アメリカ人有権者も増えつつあり、近い将来州の選挙や政治に大きな影響を与える可能性を秘めている。



Southeast Asian Coalition (SEAC 南東部アジア人連合)の青年達はより多くの市民の参加を促すための草の根運動を展開している。ウエストシャーロット高校のJraiアメリカ人学生: Tao, Hien and Dieu。写真: SEAC 提供

これは以下の団体のコラボレーションによるレポートである。



한국말

Lai Tong

日本語

Toloi Jrai

العربية

हिन्दी

ភាសាខ្មែរ

tiếng Việt

Lus Hmoob

ภาษาไทย

नेपाली

فارسی

中文

اُردو

Tagalog

ગુજરાતી લિપિ

ພາສາລາວ

移民コミュニティ

ノースカロライナ州のアジア系アメリカ人のコミュニティは主に移民から成り立っており、60%以上が外国生まれである。人種や出生国によって国籍取得の割合はことなるが、移民のうち半分は帰化してアメリカ国籍をとっている。驚くべきことに、ノースカロライナのアジア系アメリカ人の多くが外国にルーツを持つにもかかわらず、10人に7人がアメリカ国籍を有している。

発言力を強めるために

アジア系アメリカ人有権者も増えつつあり、近い将来州の選挙や政治に大きな影響を与える可能性を秘めている。州全体で見ると、選挙登録をしているアジア系アメリカ人は2006年と2014年の間で130%も増え、2014年の中間選挙では、およそ9万人のアジア系アメリカ人が票を投じた。だが、アジア人の声を政治や社会にもっと反映させるためには、有権者の投票を促すための更なる努力が必要だ。なぜなら州民の70%が選挙登録をしているのに対して、アジア系アメリカ人の58%しか選挙登録をしていないからである。

貢献者

Author, Allie Yee | *Institute for Southern Studies*
Data analyst, Dan Ichinose | *Asian Americans Advancing Justice*
Designer, Ricky Leung | *N.C. Justice Center*
Contributor, Cat Bao Le | *Southeast Asian Coalition*

資料: U.S. Census Bureau, 2014 American Community Survey One and Five-Year Estimates. U.S. Census Bureau, 2006 and 2014 Current Population Surveys. U.S. Census Bureau, 2000 and 2010 Decennial Censuses. U.S. Census Bureau, 2014 Population Estimates. North Carolina State Board of Elections, 2014 Voter Records (Asian Americans Advancing Justice analysis).